

地域包括支援センター自己評価票の修正について

【評価の目的・方法】

自己評価は、地域包括支援センターが自らの業務を振り返り、地域包括支援センター運営上の課題の抽出、整理及び改善を図り、より良い地域包括支援センターの運営や活動に向けた取組みを推進することを目的としている。評価にあたっては、職種に関わらず地域包括支援センター職員全員で検討し、総合判断のうえ記入することを基本とする。



評価の目的・方法は上記のとおりだが、包括からは主に次のような意見があった。

【地域包括支援センターの意見】

- (1) 評価項目（小項目）が多く、小項目ごとに「判断の根拠及び理由」を記載しなければならないのが、非常に手間がかかる。
- (2) 職員全員で検討する時間がなく、管理者 1 人で記入した。又は、主な担当ごとに記入した。
- (3) 文章や表現がわかりにくい。
- (4) 同じ内容の項目がある。
- (5) 評価の基準を示してほしい。
- (6) 5段階評価の方が良い。
- (7) 地域包括支援センター開始当初（24 年度当初）から、この評価のような細かい項目が市から示してもらえていれば、運営に反映できた。



包括の意見を受けて、評価の目的を達成するために、次のとおり評価票を修正。

【評価票の修正点】

(1)～(4) について

「評価にかかる時間を減少させ、職員全員で検討してもらえるように」評価表をシンプルにわかりやすく修正した。

- ・小項目に標題を付け、項目を整理。これにより、内容の重複の解消、項目の減少（ただし、評価する内容はほぼ変更なし）。
- ・小項目ごとの「判断の根拠及び理由」の欄を削除し、中項目ごとに「判断の根拠及び理由、課題及び今後の対応策等」の欄を設ける。
- ・文章もわかりやすく、実際の業務に則した表現に修正。

(5) について

自己評価であることと、地域包括センターの業務は数値等の客観的な指標を示すことが困難なため、具体的な評価基準は示していないが、

- ・文章もわかりやすく、実際の業務に則した表現に修正。
- ・「*」印で、より具体的な内容を記載。

記載されていることが、どの程度できているかで評価を行う。

(6) について

5段階だと「3」が多くなることが予想され、4段階で「できているか、できていないか」を評価することが、評価の目的である「業務の振り返りや運営上の課題の抽出、整理及び改善」には必要と考えている。

(7) について

ご意見を受け止め、評価後には各地域包括支援センターへのヒアリングも予定しており、地域包括支援センターの意見を聞き、現状を把握し、今後の地域包括支援センターの運営について市の役割を果たしていく。